

## 測定や監視を徹底し、測定結果はすべて公表します。

### 処理の過程で放射能濃度や放射線量の測定を行い、数値はすべて公表します。

- ・石巻市で、がれきの放射能濃度を測定して確認します。
- ・北九州市では、焼却から埋立処分までの各段階で、排ガス・焼却灰などの放射能濃度や敷地境界での放射線量を定期的に測定し、全て公表します。

### 常時放射線量を測定して公開します。

焼却工場や廃棄物処分場の周辺に放射線量の連続測定装置を設置します。



### 市民参加で放射線量を測定します。

市民の皆さんに安全であることを確認していただくために、実際の測定に周辺住民の方などが参加できる仕組みを検討しています。

## バグフィルターで放射性セシウムを99.9%以上除去します。

がれきの中に含まれる放射性セシウムは、焼却によりそのほとんどが排気ガスの中に含まれる「飛灰」とよばれる細かい灰に移ってしまいます。この飛灰に移った放射性セシウムは、バグフィルターという高性能な排ガス処理装置で99.9%以上が除去できます。そのため、煙突から外に出て行く放射性セシウムは大変微量で人や環境への影響はありません。

## 独自の方法で灰は安全に管理します。

焼却工場処理された飛灰は最終処分場で埋め立てられます。飛灰に含まれている放射性セシウムは水に溶けやすい性質なので、土で作った堤防の中に入れて、その都度土をかぶせ、最終的にはシートで覆うなど、雨で放射性セシウムが外部に溶け出さないような特別な構造にして埋め立てます。

さらに、埋め立てる際の飛灰の放射能濃度も、国の基準である8000ベクレル/kgを大幅に下回る330ベクレル/kgという市独自の管理目標を定めています。

**がれきの処理は、被災地の復興に役立ちます。**  
**がれきの処理で人や環境への影響はありません。**  
**みんなで支援しましょう。**



### お問い合わせ先

要請いただければ、職員が出向いて説明会を行いますので、お申し出ください。また、詳しい資料(Q & Aなど)につきましては、市民センターに置いてありますので、どうぞご覧ください。

北九州市環境局  
災害廃棄物専用ダイヤル ☎582-2411

受付は8時30分～17時15分(土曜、日曜、祝・休日は除く)

東日本大震災に伴う災害廃棄物(がれき)の広域処理について  
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyuu/01100011.html>